

プレスリリース

2017年11月24日

各位

株式会社YKプランニング

YKプランニングのbixid（ビサイド）をM&Aにおける決算書の受け渡しのために日本M&Aセンターと企業評価総合研究所にサービス提供

株式会社YKプランニング（本社：山口県防府市、代表取締役：行本 康文、以下YKプランニング）は、クラウド上での決算書等の受け渡しを可能とする会計データ標準化プラットフォーム「bixid（ビサイド）」を売却希望企業の決算書等財務資料の受け渡しのために、株式会社日本M&Aセンター（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：三宅 卓、以下日本M&Aセンター）と株式会社企業評価総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：熊谷 秀幸、以下企業評価総合研究所）にサービス提供します。

■背景

日本M&Aセンターは、譲渡希望企業の企業価値算定と企業概要分析に必要となる、決算書等財務資料を譲渡企業オーナーが手元資料を複写した紙で受領しています。紙は受け渡ししやすい一方、コピーの手間や紛失リスクなどがあり、総勘定元帳などは会社規模によっては膨大な分量となるため、コピーには相当の負担が生じます。また、確認事項が生じた場合には都度、譲渡企業オーナーらに追加資料の依頼をするのが一般的な状況となっています。

このような状況の中、日本M&Aセンターでは、極力譲渡企業のオーナーの負担を軽減し、情報漏洩リスクを軽減させ、効率よくスピーディに多くの資料提供をいただける方法を検討してまいりました。

■今回のデジタル化への取り組み

M&Aにおける、bixid（ビサイド）を介した決算書等財務資料の受け渡しとは、譲渡企業の会社または顧問税理士事務所にある会計ソフトから抽出したデータをクラウドシステムである bixid（ビサイド）にアップロードし、日本M&Aセンターから委託を受けた企業評価総合研究所が当該資料をダウンロードし、企業価値算定と企業概要分析を実施するものです。

会計データには決算書だけでなく、総勘定元帳等のデータも含まれるため、確認が生じた際にも追加資料の提出をいただくことなく、企業価値算定と企業概要分析を進めることができます。これにより譲渡企業オーナーの負担が軽減され、スピーディに譲受候補企業の選定に進むことができます。

■企業評価総合研究所

日本M&Aセンターは企業価値算定と企業概要分析を、企業評価の専門子会社である企業評価総合研究所に委託しています。bixid（ビサイド）を介した顧客との決算書等財務資料の受け渡しは企業評価総合研究所が窓口となり実施します。中堅・中小企業にとって大きな悩みである事業承継問題において、M&Aという選択肢は年々増え続けています。財務的には経営継続可能であるにもかかわらず、最終的に後継者がいないために廃業してしまうケースも少なくありません。今回の3社の提携は、よりスピーディーな企業評価を実現可能とし、多くの中堅・中小企業の経営者にとってM&Aを選択しやすい環境の提供をめざします。

■bixid（ビサイド）

『bixid（ビサイド）』は、クラウド上での決算書等の受け渡しを可能にする会計データ標準化プラットフォームです。日本国内には50メーカー100種類以上の会計ソフトが存在し、それぞれの規格の会計データは互換性がなく、会計ソフト間でのデータの受け渡しは困難な状況でした。『bixid』により、会計データの標準化されたフォーマットでの一元的なデジタル授受が実現可能となります。

【本リリース・製品サービスに関するお問い合わせ先】

開発本部 bixid事業部 稲嶺 TEL：0835-27-2727 E-Mail：info@yk-planning.com

<ご参考資料>

株式会社YKプランニングについて

山口県山口市を拠点に置く行本会計事務所（1982年開業）のシステム部門から独立した会社です。全国の会計事務所に対し、税務監査の標準化システムや財務分析、経営計画策定システム及びモニタリング業務をサポートするためのソフトウェア「財務維新」を開発・販売しています。「過去会計からの脱却と未来会計へのシフト」をモットーに、全国の税理士・公認会計士とともに地方創生の一翼を担うため、中小企業の財務の見える化健全化に取り組んでいます。

www.yk-planning.com